



# 森のなごま

2018年4月号

NO.120 (継続265号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

第9回森林文化講演会 「いのちのつながりを見つめて」～自然は友達～  
平成30年2月11日 講師 吉田 文雄氏

<記 森林文化部会 菊地 昭子1期> <写真撮影:井出 恒夫 1期>

毎年恒例の森林文化講演会は9回目迎え2月11日(日)桜美林大学PFC(プラネット淵野辺キャンパス)P202 教室で行われました。3連休でしたが、一般13名、森林インストラクター40名の合計53名が集まりました。

吉田文雄氏は、神奈川県下の小中学校の教員をなされ、厚木市立依知中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。フィールドスタッフ、1級ビオトープ計画/施工管理士、七沢自然観察主幹指導主事。神奈川新聞県西版に7年間連載された「四季のたより」がスタッフの目に留まり今回の講演会となりました。



「命が輝くときはどんな時だろうか?」とその瞬間の写真に撮られてきた。相手と会話し、気持ちを理解する。そして「そのものになりきる」。そしてそれが自然を保護・保全することが大切だと思うようになられた。蜜を吸っている蝶、岩場で休む日本カモシカ、ニジマスは今採ろうとゴイザギ、ハチを採って離さないハナグモ、水滴、虹色に輝く蜘蛛の糸、土手の隙間から育った見事な花をつけた桜・・・。空を見上げているネコから見える世界を物語にして話す姿に優しい雰囲気会場に流れていきました。



後援:神奈川県、相模原市、神奈川県森林協会、(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川新聞社  
協力:桜美林大学